

国際英語学研究科【学位授与の方針】

国際英語学研究科は、定められた課程を修め、以下の要件を満たした者に対して学位を授与する。

<教育研究上の目的(理念・目的)>

〔修士課程〕

1. 国際英語学専攻は、国際英語の視点に立ち、英米の英語や文化への偏重姿勢を超えた新しい国際的視野をもつ英語教育者を養成すること、および、そのような英語教育者の養成に自ら貢献しうる国際英語学研究者を育てることを目的とする。また、現代の国際化する企業組織や国際団体等で求められる多様な専門知識や技術を獲得するとともに、汎用性を有する高度な英語力と異文化に対する深い理解や柔軟な対応力を有する国際人の養成を目的とする。
2. 英米文化学専攻は、国際英語の観点も視野に入れた高いコミュニケーション能力を有するとともに英米文化に関する専門性を持った高度専門職業人・企業人、研究員を養成することを目的とする。文化研究コースでは、旧来の英文学専攻に見られる文学偏重を排し、英米の音楽・映画等の現代文化も題材にして多面的な英米文化研究を目指す。また、言語研究コースでは、実際の言語運用の側面にも配慮した研究・教育を行う。こうした専門教育に加えて、実践的英語運用能力の向上を配慮した科目を配することで高度な専門知識を備えた国際人の養成を目的とする。

<学習成果(教育目標)>

国際英語学研究科は、上記の目的に基づき、定められた課程を修め、研究指導を受けただで修士論文(※)を作成提出し、その審査および最終試験に合格した者に対して修士(国際英語学)または修士(英米文化学)を授与する。

〔修士課程〕 国際英語学専攻

1. 国際英語学全般にわたる広く深い知識を有していること。
2. 情報処理能力とコミュニケーション能力を身につけ英語を用いて専門的議論ができること。
3. 習得した知識と技能を用いて、専門的職業人としての能力を身につけていること。
4. 職業人または研究者としての高い自覚と倫理意識を持ち社会に貢献できること。

〔修士課程〕 英米文化学専攻

1. 英語圏の言語文化に関する広く深い学識を持ち、現代の社会において多様な文化が抱える諸問題を学術的側面から理解するべく多面的に取り組み、社会的な要請に応えるために自ら考え、表現する力があること。

2. 研究者もしくは職業人としての高い自覚と倫理意識を持ち、自身の言動や価値観を批判的に内省し、自身の責任と判断に基づいて行動できること。
3. 身につけた知識と技術とを駆使して、社会に貢献できる専門的実務者としての能力を獲得していること。
4. 各種情報処理能力及び高度なメディア・リテラシーを身につけ、専門的議論を英語で行い、またそれを英語で整理・要約し発信することができる。
5. 自身の問題意識に基づき、英米の文化・歴史・政治・社会の諸分野について広範な知識を持ち、かつその分野について批判的な視点から論理的に論じることができる。

※修士論文の審査基準は以下の通りとする。

1. 先行研究の整理と問題設定は適切にされているか。
2. 章立てを含めた論述の流れは適切であるか。
3. 研究方法の選択、実行は適切になされているか。
4. 注や図表処理等も含めて、論述が的確でかつ分量的にも適切であるか。
5. 設定した問題の解明は的確、適切になされているか。